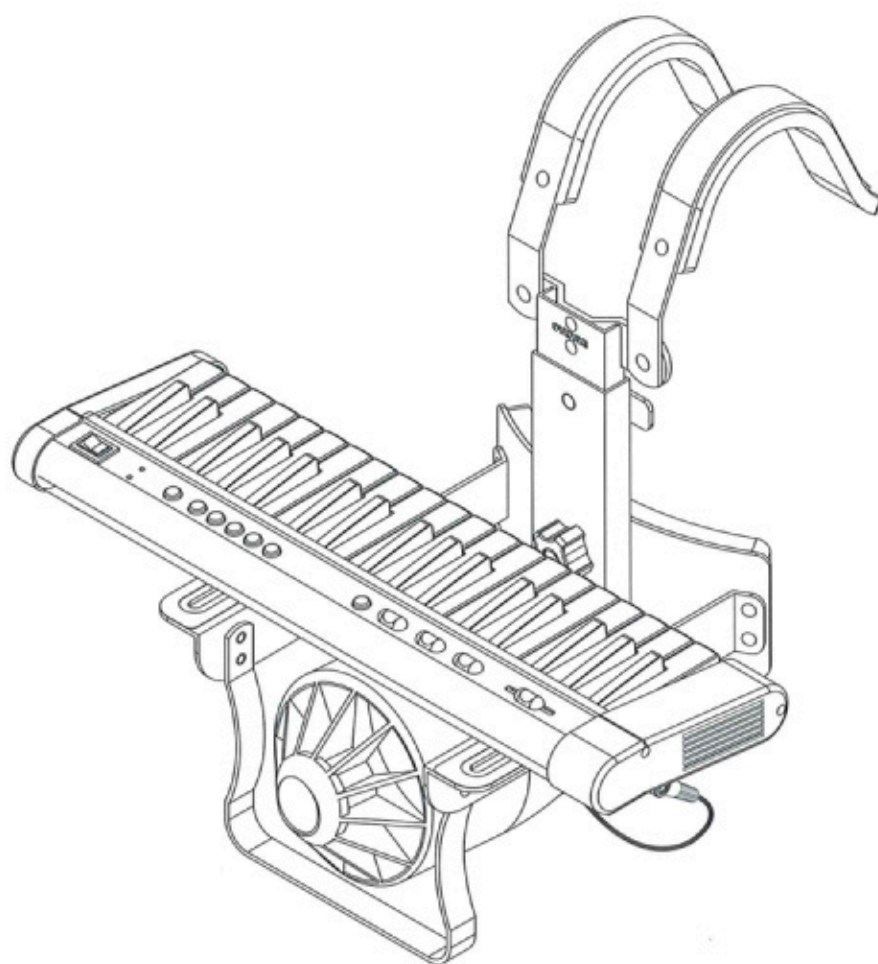


MK-3600

スズキマーチングキーボード

取扱説明書



この度は、スズキマーチングキーボードMK-3600をお買い上げいただきまして
誠にありがとうございます。

本製品を末永く、そして安全にお使いいただくため、この取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった取扱説明書は、無くさないように大切に保管してください。

 **SUZUKI**

使用上の注意

警告

この表示内容を見逃した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性があります。

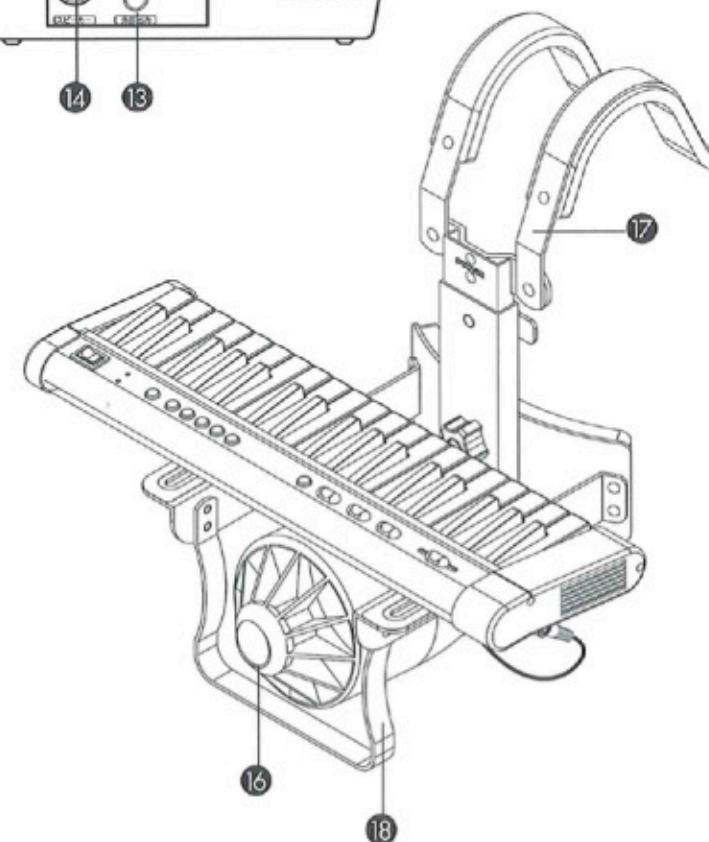
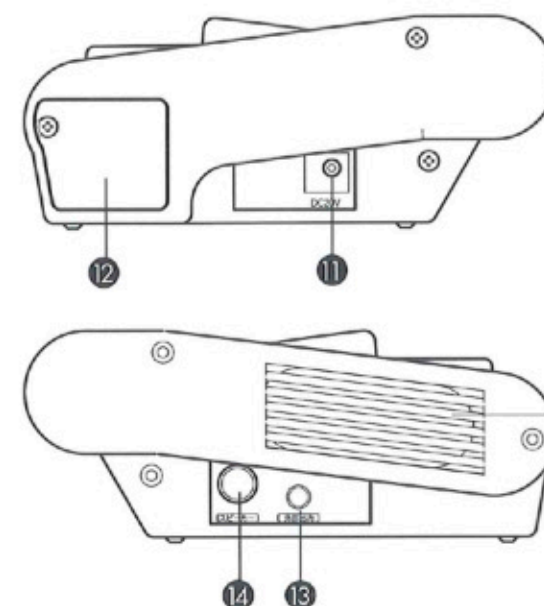
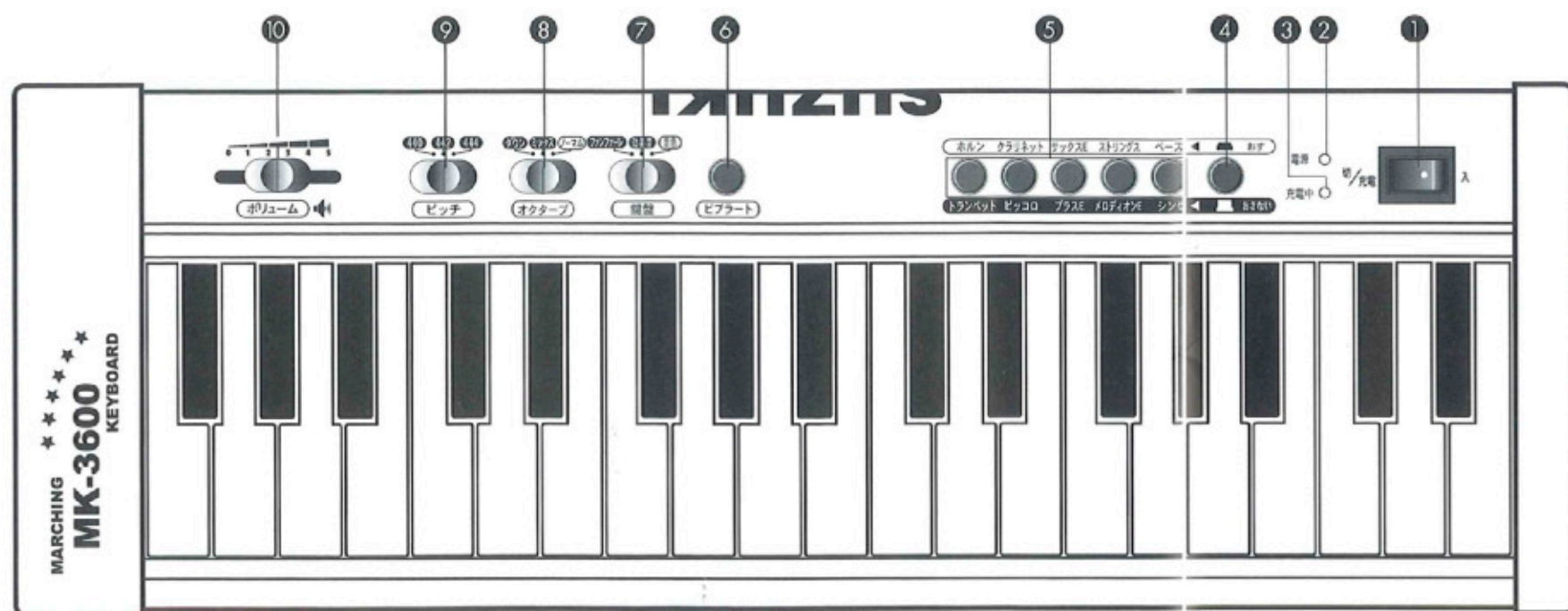
 <p>改造・分解は危険です 改造や分解はしないでください。故障の原因となるだけでなく、感電の恐れがあります。たいへん危険です。</p>	 <p>濡れた手で触れないでください 濡れた手でアダプタ・コードおよび本体に触れないでください。故障の原因となるだけでなく、感電の恐れがあります。たいへん危険です。</p>	 <p>異物を入れないでください 本製品に異物(硬貨や針金など)や液体(水やジュースなど)を入れないようにしてください。故障の原因となるだけでなく、感電の恐れがあります。たいへん危険です。</p>
 <p>コードは引っ張らないでください アダプタなどのコードの上に物を置いたり、引っ張ったりしないでください。感電の恐れがあります。たいへん危険です。</p>	 <p>付属のアダプタ (SKV-3020) 以外は使用しないでください 故障の原因となるだけでなく、感電・発熱・火災の恐れがあります。たいへん危険です。</p>	 <p>湿気は大敵です 風呂場など湿気の多い場所では、絶対に使用・保管しないでください。故障の原因となるだけでなく、感電の恐れがあります。たいへん危険です。</p>
 <p>ホコリっぽい場所は避けてください ホコリの多い場所での使用・保管は避けてください。故障や発火などの事故の原因になることがあります。</p>	 <p>グリップ・蝶ボルトはしっかり締めてください 演奏の時はホルダーのグリップ・蝶ボルトをしっかり締めてください。万一落下いたしますと思わぬケガをする恐れがあります。</p>	 <p>異常を感じたら電源を切ってください 万一異常や発熱などの異常を感じたときは、電源スイッチを切り、ACアダプタをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店、またはスズキ各営業所にご連絡ください。</p>
 <p>電源は必ず交流100Vを使用してください エアコンの電源など交流200Vのものがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。</p>		

注意

この表示内容を見逃した取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的傷害が発生する可能性が想定されます。

 <p>自動車の中や暖房器具のすぐ近くなど、極端に熱くなる場所や、逆に温度が極端に低いところでの使用は避けてください。 変形・故障の原因になることがあります。</p>	 <p>不安定な場所に置かないでください 本製品を不安定な場所に置かないでください。落下をして思わぬけがをする恐れがあります。</p>	 <p>衝撃を与えないでください 本製品をぶつけたり、落としたりしないでください。製品に傷をつけるだけでなく、故障の原因になります。</p>
 <p>使わないときはACアダプタを抜いてください 楽器保護のため、充電後やご使用の後は、必ず電源スイッチを切り、コンセントからACアダプタを抜いてください。</p>	 <p>お手入れは柔らかい布で お手入れは柔らかい布でカラ拭きしてください。アルコール・シンナー・ベンジン等は製品を痛めますので絶対に使用しないでください。</p>	 <p>磁気を使用している製品の近くは避けてください。 本製品に搭載されているスピーカーは防磁型ではありませんので、テレビ、カセットテープ、フロッピーディスクなど、磁気を使用している製品の近くでお使いにならないでください。</p>
 <p>電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜いてください。 電源コードが破損して、感電や火災が発生する恐れがあります。</p>	 <p>タコ足配線をしないでください コンセント部が異常発熱して発火したりすることがあります。</p>	 <p>大きな音で演奏する場合はスピーカーに耳を近づけないでください 聴覚障害の原因になります。</p>
 <p>ニッケル水素電池のリサイクルにご協力ください 弊社は有限責任中間法人JBRC(小形充電式電池のリサイクル活動を推進する団体)の会員です。 本製品に使用しているニッケル水素電池は、リサイクル可能な資源です。ご使用済みのニッケル水素電池は、お近くのスズキ各営業所、またはリサイクルボックスを設置している充電式電池リサイクル協力店までお持ちください。 JBRC及び、最寄りのリサイクル協力店に関して詳しくは、JBRCのホームページをご覧ください。 http://www.jbrc.com</p>		

各部の名称とはたらき



① 電源スイッチ (充電スイッチ)

電源スイッチを「入」にすると内蔵バッテリーもしくは外部電源で作動します。内蔵バッテリーを充電するときは、電源スイッチを「切/充電」にしてください。

→7p

② 電源ランプ

電源が「入」のとき「電源」が点灯します。内蔵バッテリーでの使用中はバッテリーの状態を表示します。

→7~8p

③ 充電中ランプ

充電中はランプが点灯し、充電が完了すると消灯します。

→7p

④ 音色切替スイッチ

音色選択スイッチと併用して、音色を選択します。

→9p

⑤ 音色選択スイッチ

音色切替スイッチと併用して、音色を選択します。

→9p

⑥ ビブラートスイッチ

ビブラートON/OFFを切り替えます。

→10p

⑦ 鍵盤スイッチ

鍵盤を押した時に出る音を切り替えます。音色・・・④・⑤で設定している音色で音が鳴ります。

→9p

効果音・・・12種類の効果音が鳴ります。

→10p

ファンファーレ・・・6種類のファンファーレが鳴ります。

→11p

⑧ オクターブスイッチ

ノーマル・・・通常の音程で音が鳴ります。

→11p

ミックス・・・通常の音程と1オクターブ低い音程の音が同時に鳴ります。

→11p

ダウン・・・通常の音程よりも1オクターブ低い音程で音が鳴ります。

→11p

⑨ ピッチコントロールスイッチ

音の高さをコントロールします。A=440、442、444Hzの三段階に調節できます。

⑩ ボリューム

右にスライドすると音量が大きくなり、左にスライドすると音量が小さくなります。

⑪ 外部電源ジャック

付属のアダプタ (SKV-3020) を接続します。

→7p

⑫ 内蔵バッテリー取り出し口

内蔵バッテリー (ニッケル水素電池) の取り出し口です。

→14p

⑬ 外部出力ジャック

外部アンプなどに接続するときに使用します。

→12p

⑭ スピーカージャック

内蔵のスピーカーを使用せず、ジャイアントスピーカーを使用するためのジャックです。

→6p

⑮ 内蔵スピーカー

スピーカージャックを使用しないで演奏すると、ここから音が出ます。スピーカージャック使用時には、内蔵スピーカーからは音が出ません。

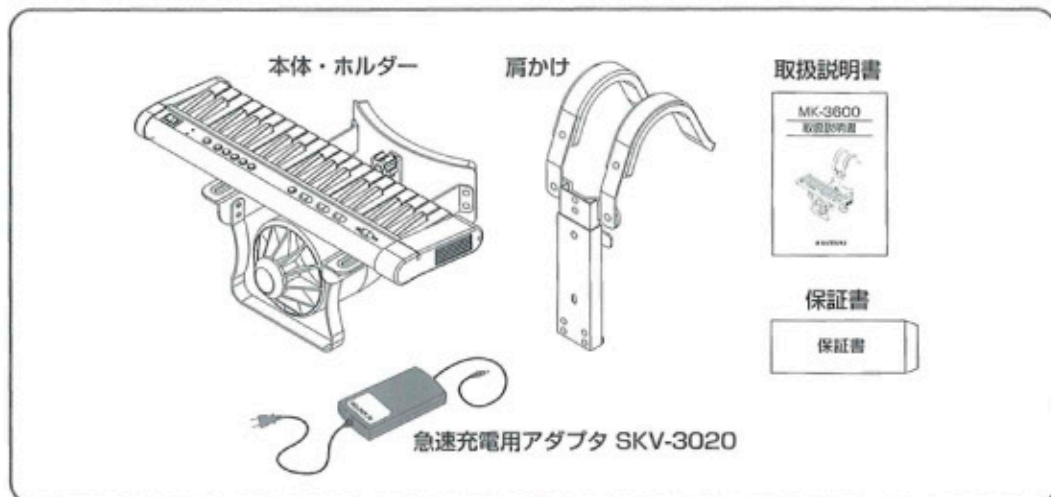
⑯ ジャイアントスピーカー

スピーカージャックに接続すると、ジャイアントスピーカーから音が鳴ります。スピーカージャックから外すと内蔵スピーカーから音が出ます。

演奏する前に

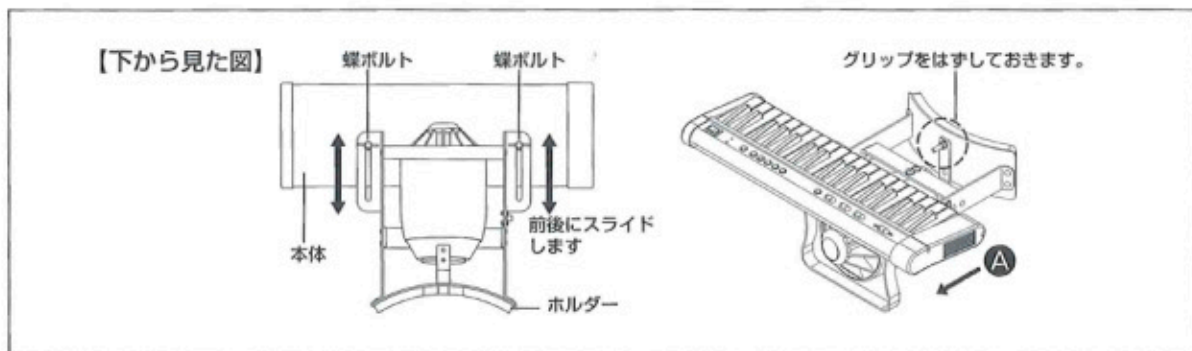
中身を確認しましょう

本製品には、以下の部品、同梱品が梱包されています。すべて揃っているかご確認ください。
足りない部品などがありましたら、お買い上げ販売店もしくはスズキ各営業所までご連絡ください。

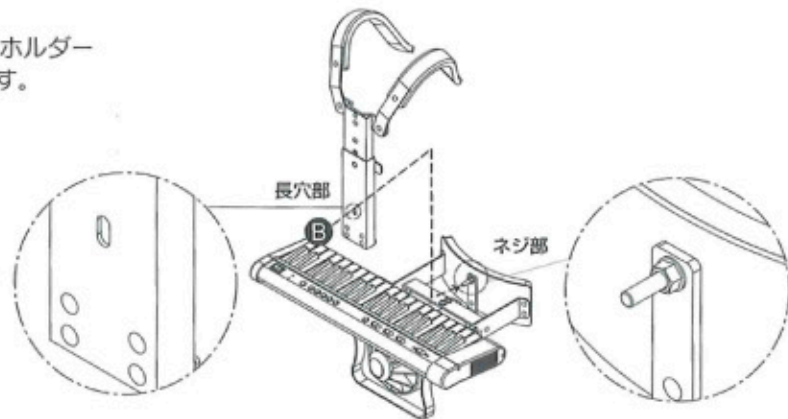


組み立てましょう

※組み立ての前に、本体とホルダーを固定している蝶ボルトをゆるめ、本体をAの方向へ移動しておくこと、肩かけの取付け作業がしやすくなります。ホルダーに付いているグリップは、はずしておきます。



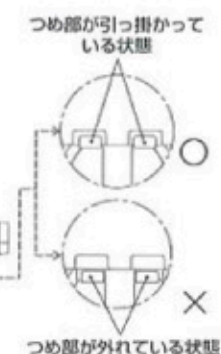
① 肩かけの長穴部Bをホルダーのネジ部に挿入します。



② 肩かけをCの方向へしっかり押し付けたあと、Dの方向へ引き上げます。この時、肩かけのつめ部がホルダーにしっかり掛かっていることを確認してください。



【後ろから見た図】



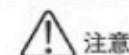
③ グリップを右方向に回し、確実に締めます。



④ 本体を演奏しやすい位置に前後調節し、ホルダー裏面の蝶ボルトを締め固定します。

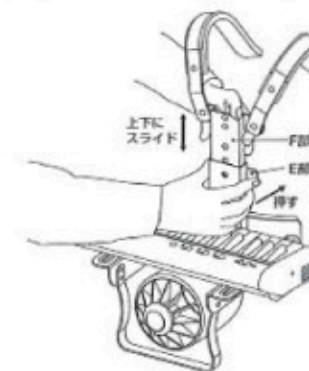


⑤ 肩かけの高さを調節します。肩かけは演奏者の身長により、4段階に高さ調節が可能です。図のE部分を矢印方向に押し込んだ状態でF部を上下にスライドさせます。丸穴の位置で高さが調節できます。



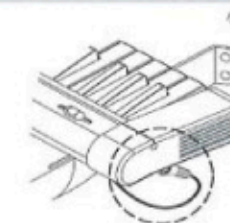
注意

肩かけの高さ調節は安定した場所に置いて行ってください。肩にかけたまま調節を行うと、本体が落下して思わぬけがや事故の原因となる恐れがあります。



スピーカーの接続を確認しましょう

ホルダーに付属のジャイアントスピーカーは、本体左側の「スピーカージャック」に接続された状態で出荷しておりますが、念のため、ご使用前にしっかりと接続されているか確認してください。
このジャックを使用すると「内蔵スピーカー」からは音が出ません。



注意

スピーカージャックには付属のジャイアントスピーカー以外は接続しないでください。故障の原因になります。

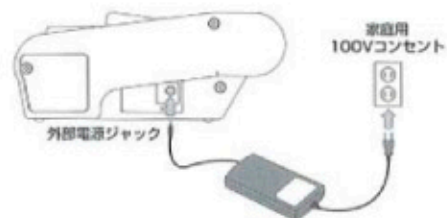
充電しましょう 1 (初めて使用する場合)

初めて使用される際には、必ず充電をしてください。

- ① 本体の電源スイッチを「切/充電」にします。

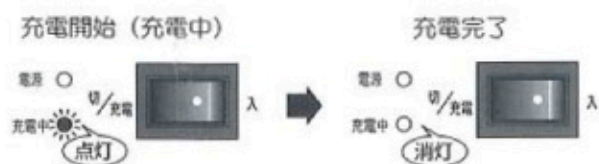


- ② 付属のアダプタ (SKV-3020) を「外部電源ジャック」に接続し、電源プラグを家庭用 100V コンセントへ差し込みます。



- ③ 「充電中ランプ」が点灯すると充電開始です。

- ④ 「充電中ランプ」が消灯すると充電完了です。(周囲の温度や内蔵バッテリーの放電状態により異なりますが、約1時間～1時間半で充電が完了します。)



- ⑤ 充電が完了したら「外部電源ジャック」およびコンセントからアダプタ (SKV-3020) を抜きます。

- ⑥ 「電源スイッチ」を入れると「電源ランプ」が点灯します。以下、演奏のしかたは9ページ以降をご参照ください。



充電しましょう 2 (2回目以降の使用の場合)

内蔵バッテリーの残量が少なくなると、「電源ランプ」の色が赤から黄色へ変わります。黄色になってから、10～20分程度はご使用になれますが、黄色に変わった後はなるべく早い充電をおすすめします。

また右記のような症状が出たら、速やかに充電をしてください。その際、以下の点にご注意ください。

- 「電源ランプ」が消えた
- キーボードが正常に動作しなくなった
- 音量が小さいのに音が割れる

⚠ バッテリーに関する注意事項

本機には、バッテリーに2次電池(ニッケル水素電池)が使用されています。電池を永く安全に使用するために、次のことにご注意ください。

■ 充電に関するご注意

- 電池の持続時間は音量、発音数、使用頻度等で変化します。
- 2回目以降の充電は、必ず「電源ランプ」が黄色に変わってから行ってください。「電源ランプ」が黄色になる前に放電・充電を繰り返すと、使用できる時間が短くなります。このような状態(メモリー効果現象)が起きたら、「電源ランプ」が消えるまで使用してから充電してください。これを数回繰り返すと症状が改善されます。症状が改善されない場合は、内蔵バッテリーの寿命が考えられますので、お買い上げ販売店、またはスズキ各営業所までご連絡ください。

- アダプタは付属のもの (SKV-3020) 以外はお使用にならないでください。
- 充電終了後はアダプタをコンセント及び外部電源ジャックから外してください。本機を充電状態のまま、長期間放置しますと、電池や本体の故障の原因になります。

■ 保管時のご注意

- 本機の電源を「入」の状態に保管しないでください。電池の故障の原因になります。
- 長期間使用しない場合は充電をして、アダプタを外し、電源を「切」の状態に保管してください。
- 長期間保管した場合、充電をした状態で保管しても残量が減っていきます(自己放電)。3ヶ月以上保管すると自己放電により電池が空になり、それ以上放置するとさらに自己放電が進み過放電状態となりやすく、液漏れや故障の原因となります。長期保管時には、電池の自己放電による過放電防止の為、使用しない場合でも2～3ヶ月に一度は充電をしてください。又、長期保管後は再度充電して使用して下さい。
- 保管時の温度により、わずかではあります但し劣化や変形、結露による発錆などが起こる事があります。長期間(3ヶ月以上)保管時には、できるだけ常温付近(10～30℃)で保管してください。
- 長期保管後に使用した場合、最初の1～2回は電池の持続時間が短くなる場合があります。このような場合は「電源ランプ」が消えるまで使用し、再度充電してください。数回充電・放電を繰り返すと症状が改善されます。症状が改善されない場合は、内蔵バッテリーの寿命が考えられますので、お買い上げ販売店またはスズキ各営業所までご連絡ください。

バッテリーにはニッケル水素電池を使用しております。ニッケル水素電池はリサイクル可能な貴重な資源です。(ニッケル水素電池の交換および)ご使用済み製品の廃棄に際しては、ニッケル水素電池を取り出し、リサイクルへご協力ください。 → 14p

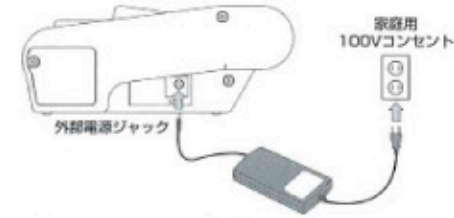
アダプタで使用する場合 (屋内に限ります)

屋内で使用する場合、内蔵バッテリーの代わりにアダプタをコンセントに差し込んで、外部電源 (AC100V) を使用すれば長時間の演奏が可能です。

- ① 本体の電源スイッチを「切/充電」にします。



- ② 付属のアダプタ (SKV-3020) を「外部電源ジャック」に接続し、電源プラグを家庭用 100V コンセントへ差し込みます。



- ③ 「電源スイッチ」を入れると「電源ランプ」が点灯します。以下、演奏のしかたは9ページ以降をご参照ください。



⚠ ご注意

- アダプタは付属のもの (SKV-3020) 以外はお使用にならないでください。
- アダプタでの使用は屋内に限ります。屋外でのアダプタの使用は、故障・感電の恐れがありますのでおやめください。

演奏のしかた

音量について

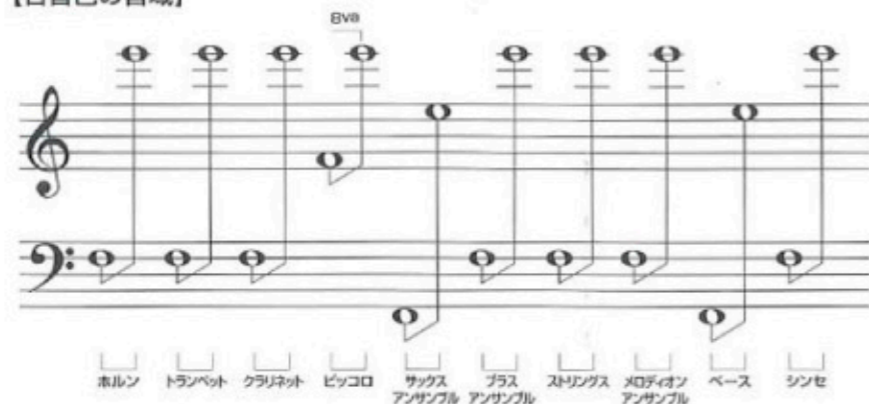
本製品は、屋外使用を考慮して最大音量の設定を大きめにセットしています。最大音量で2音以上の鍵盤を同時に弾くと音が歪む場合があります。音量は演奏曲や演奏効果を考慮して調節し、歪みのないきれいな音で演奏してください。

音色・音域について

本製品は10種類の音色が選択できます。「音色選択スイッチ」と「音色切替スイッチ」でセットします。

※「オクターブスイッチ」が「ダウン」になっている場合には、この表記よりも1オクターブ低い音域になります。

【各音色の音域】



「トランペット」の音色で音を鳴らしてみよう

「トランペット」の音色で音を鳴らしてみよう

- ① 「電源スイッチ」を入れます。
- ② 「鍵盤スイッチ」を「音色」に合わせ「音色切替スイッチ」を「おさない」にします。
- ③ 「音色選択スイッチ」の「トランペット」を押します。
- ④ 「ボリューム」を任意の位置に調節します。
- ⑤ 鍵盤を押さえると「トランペット」の音色で音が鳴ります。

音色を「サクサクアンサンブル (サクサクE)」に変えてみましょう

本製品には、10種類の音色が搭載されています。「サクサクE」などの「E」は「アンサンブル」の意味で、「サクサクアンサンブル」の場合、数本のサクサクを同時に鳴らした音色です。「音色切替スイッチ」を「おさない」にすると、「音色選択スイッチ」の下段の音色（トランペット・ピッコロ・プラスアンサンブル・メロディオンアンサンブル・シンセ）を、「おす」にすると、上段の音色（ホルン・クラリネット・サクサクアンサンブル・ストリングス・ベース）をそれぞれ選択できます。

- ① 「音色切替スイッチ」を「おす」にします。
- ② 「音色選択スイッチ」の「サクサクE」を押します。
- ③ 鍵盤を押さえると「サクサクアンサンブル」の音色で音が鳴ります。

「ビブラート」をかけてみましょう

音を微妙にふるわせたいときに「ビブラートスイッチ」を「ON」にします。

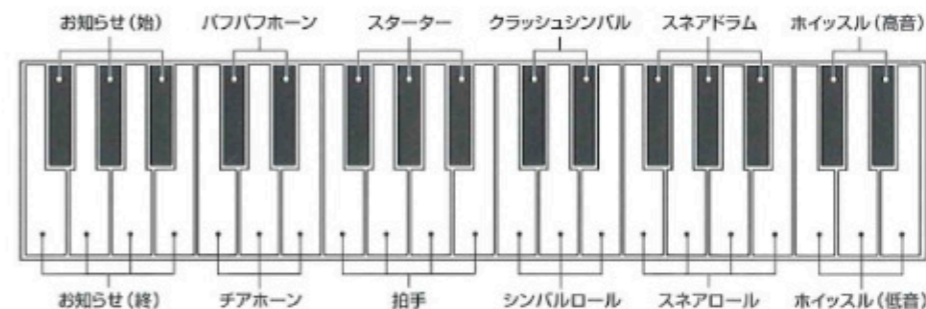
注意

プラスアンサンブル・メロディオンアンサンブル・サクサクアンサンブル・ストリングスの音色にはビブラートはかかりません。



「効果音」を使ってみよう

本製品には12種類の効果音が搭載されています。鍵盤に割り当てられている効果音名は下図のとおりです。



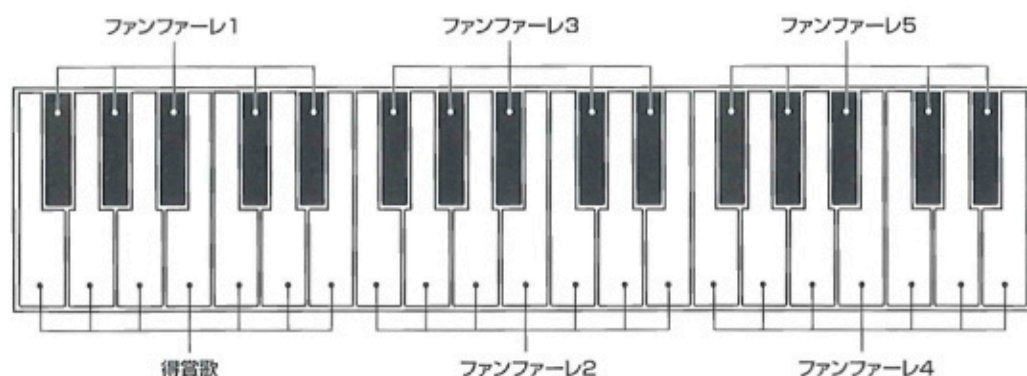
- ① 「鍵盤スイッチ」を「効果音」に合わせます。
- ② 鳴らしたい効果音が割り当てられている鍵盤を押さえます。

注意

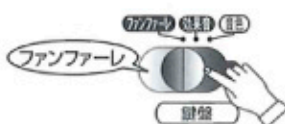
一つの効果音が複数の鍵盤に割り当てられていますが、効果音によっては、複数の鍵盤を押さえても、同じ効果音を重ねて鳴らすことができないものがあります。

「ファンファーレ」を使ってみましょう

本製品には6種類のファンファーレが搭載されています。鍵盤に割り当てられているファンファーレとファンファーレの種類は下図のとおりです。



- ① 「鍵盤スイッチ」を「ファンファーレ」に合わせます。



- ② 鳴らしたいファンファーレが割り当てられている鍵盤を押さえます。



注意

同一のファンファーレを重ねて鳴らすことはできません。

「オクターブスイッチ」を使ってみましょう

「オクターブスイッチ」を「ダウン」にすると「ノーマル」よりも1オクターブ低い音が鳴ります。「オクターブスイッチ」を「ミックス」にすると、「ノーマル」で鳴る音と、「ダウン」で鳴る音の重なった音が鳴ります。

例：トランペットの場合

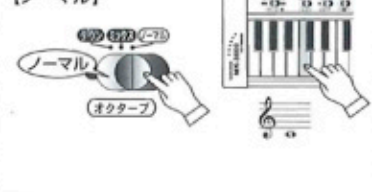
【オクターブ ダウン】



【オクターブ ミックス】



【ノーマル】



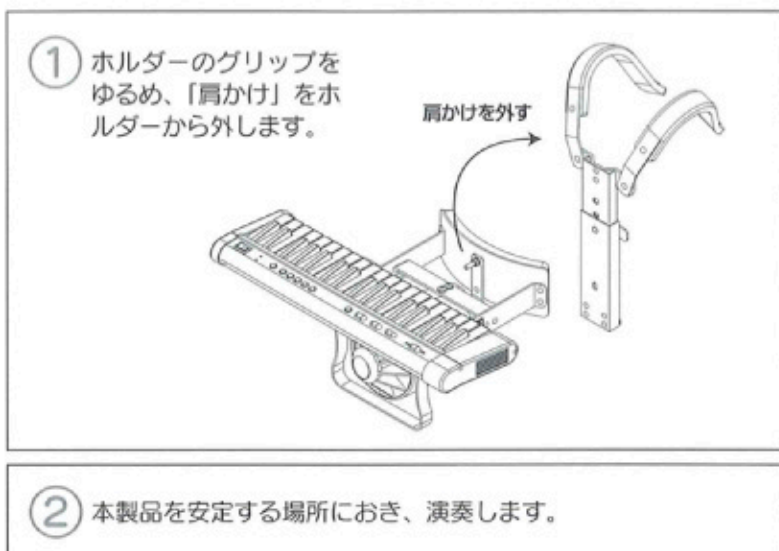
注意

「オクターブスイッチ」は「鍵盤スイッチ」が「音色」になっている時のみ有効な機能です。「鍵盤スイッチ」が「ファンファーレ」もしくは「効果音」になっている時には、無効です。

その他の使いかた

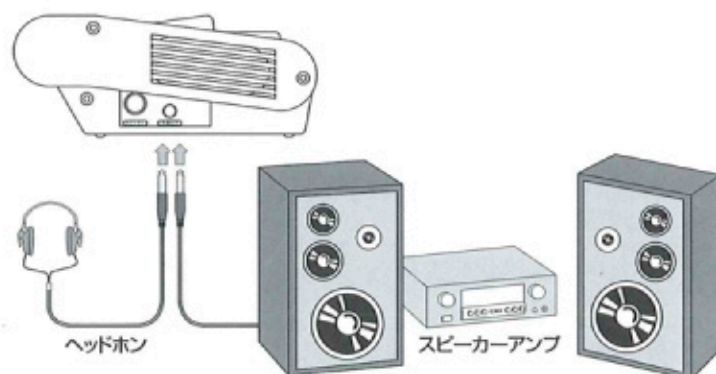
アンサンブルキーボードとして使ってみましょう

本製品を、アンサンブルキーボードとして室内（教室など）で使用することも可能です。



他の機器と接続してみましょ

外部アンプ、およびヘッドホンを使用する場合は「外部出力ジャック」を使用します。このジャックを使用すると、内蔵スピーカー、ジャイアントスピーカーからは音が出ません。外部出力は、本体の「ボリューム」でも音量調整がおこなえます。本製品を他の機器と接続する場合、下記の点にご注意ください。



プラグはミニプラグ（ステレオ/モノラルどちらでも）をご使用ください。



注意

- ラインレベルで出力されますので、マイク入力端子には接続しないでください。
- 接続は、すべての機器の電源を切った状態でおこなってください。また、接続後に電源を入れたり切ったりするときは、必ず機器のボリュームを最小にしてください。

故障とお考えになる前に

故障かな？と思ったら、もう一度下記の項目をご確認ください。それでも異常がある場合、速やかに電源を切り（アダプタでご利用の場合はアダプタをコンセントから外して）、お買い上げの販売店または最寄りの営業所にお問い合わせください。

症状	原因	処置
電源が入らない	バッテリーが消耗している (内蔵バッテリーで使用の場合)	バッテリーを充電してください
	プラグやコードがしっかりと接続されていない (アダプタで使用の場合)	プラグやコード類をしっかりと接続してください
内蔵スピーカーから音が出ない	ボリュームが「0」になっている スピーカージャックを使用している	適切なボリュームに調節してください スピーカージャック使用中は内蔵スピーカーからは音が出ません スピーカージャックからスピーカーコードを抜いてください
	外部出力を使用している (ヘッドホン等を接続している)	外部出力を使用している時は内蔵スピーカーからは音がでません。ヘッドホン等、外部出力に接続しているものを抜いてください。
ジャイアントスピーカーから音が出ない	ボリュームが「0」になっている スピーカージャックにしっかりと接続されていない	適切なボリュームに調節してください スピーカージャックにジャイアントスピーカーをしっかりと接続してください
	外部出力を使用している (ヘッドホン等を接続している)	外部出力を使用している時はジャイアントスピーカーからは音がでません。ヘッドホン等、外部出力に接続しているものを抜いてください。
音が歪む	同時に複数の鍵盤を押さえている	音量を下げてください
	バッテリーが消耗している (内蔵バッテリーで使用の場合)	バッテリーを充電してください
ピッチがずれている	ピッチが合っていない	ピッチを合わせてください
音が低い	オクターブスイッチが「ダウン」になっている	オクターブスイッチを「ノーマル」に合わせてください
音が重なって聞こえる	オクターブスイッチが「ミックス」になっている	オクターブスイッチを「ノーマル」に合わせてください
充電してもバッテリーがすぐに消耗する	長期間放置していたり、電池を使いきる前に充電することを繰り返している	7ページを参照し、充電・放電をおこなってください
ときどき雑音が入る	すぐ近くで電気機器を使用している	離れたコンセントを使用してください
テレビ・ラジオに雑音が入る	すぐ近くで使用している	できるだけ離して使用してください

仕様・特長

音源	VASEⅢ 16Mbit
最大同時発音数	12音
鍵盤	36(Fスケール)ミニ鍵盤
音色	パネル10音色 (ホルン、クラリネット・サクソファンサンプル・ストリング・ベース・トランペット・ピッコロ・ プラスアンサンプル・メロディオンアンサンプル・シンセ)
効果音	12音色 (お知らせ(始)、お知らせ(終)・チアホーン・バフバフホーン・拍手・スターター・シンバルロール・ クラッシュシンバル・スネアロール・スネアドラム・ホイッスル高音・ホイッスル低音)
ファンファーレ	ファンファーレ6音色(得賞歌、ファンファーレ1~5)
モニタースピーカー	内蔵(16Ω)
スピーカー出力	8W
コントロール	電源スイッチ(入、切/充電)、音量、ピブラート(入、切)、音色切替(5×2段=10種類)、調律(A=440、442、 444Hz)、オクターブ(ノーマル・ミックス・ダウン)、鍵盤(音色・効果音・ファンファーレ)
インジケータ	電源(バッテリー残量計)、充電中
電源	DC20V(ACアダプタSKV-3020)12V/1.5V 内蔵バッテリー(Ni-MH)12V/1500mAh
外部端子	ヘッドホン/外部出力(ステレオミニジャック)、専用トランペットスピーカー(モノラル標準ジャック)、 電源入力
トランペットスピーカー	トランペットスピーカー13cm×1 定格入力:10W 定格負荷:4Ω
寸法	ホルダー、スピーカー取付時 47.2×44~49×43~50cm(MK-3600) 47.2×49~54×57~64cm(MK-3600L) 本体のみ 47.2×15.9×6.2cm
重量	ホルダー、スピーカー取付時 4.06kg(MK-3600)(本体2.0kg+ホルダー1.2kg+スピーカー0.86kg) 4.16kg(MK-3600L)(本体2.0kg+ホルダー1.3kg+スピーカー0.86kg)
付属品	ACアダプタ 幼児用ホルダー-DMP-487W(MK-3600) 小中学用ホルダー-DMP-488W(MK-3600L)

内蔵バッテリー(ニッケル水素電池)について

弊社は有限責任中間法人JBRC(小形充電式電池のリサイクル活動を推進する団体)の会員です。

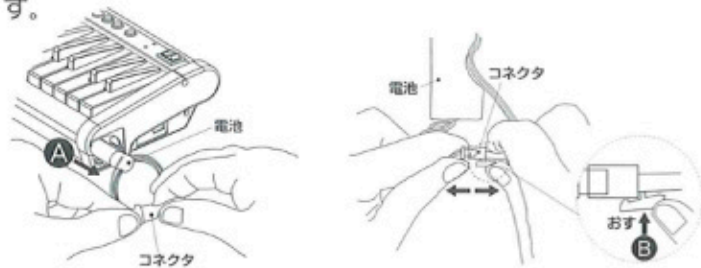
本製品に使用しているニッケル水素電池は、リサイクル可能な資源です。ご使用済みのニッケル水素電池は、お近くのスズキ各営業所、またはリサイクルボックスを設置している充電式電池リサイクル協力店までお持ち込みください。ニッケル水素電池の取り出しかたは、下記の手順でおこなってください。

JBRC及び、最寄りのリサイクル協力店に関して詳しくは、JBRCのホームページをご覧ください。<http://www.jbrc.com>

- ① 本体の電池蓋を固定しているネジをドライバーで外し、ネジ、電池蓋、クッションを外します。



- ② 電池を矢印Aの方向へ引き出し、電池と本体をつないでいるコネクタを外します。
※破線部付近を矢印Bの方向へ押しながら左右へ引き離します。



- ③ 電池を取り外したら、リサイクルへご協力ください。



Ni-MH

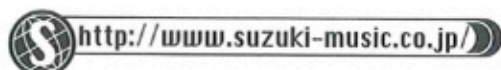
アフターサービスについて

- 1.この商品には保証書を別途添付しております。保証書は販売店でお渡しいたしますので、所定の事項の記入および記載内容をご確認のうえ大切に保管してください。
- 2.保証期間はご購入日より1年間です。保証書の記載内容によりご購入販売店が修理致します。その他、詳細は保証書をご覧ください。
- 3.保証期間が切れましても、修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。
- 4.アフターサービスについてご不明の場合は、ご購入の販売店またはもよりの営業所にお問い合わせください。

株式会社 鈴木楽器製作所

〒430-0852 静岡県浜松市中区領家 2-25-12 ☎(053)461-2325

鈴木楽器販売株式会社



メールでのお問い合わせは下記まで
info@suzuki-music.co.jp